



第11回上田八木・金融政策サーベイ(2017年4月)の結果について

～4月のMPM予想は全回答者が政策変更なしの見方(2回連続)。現在の金融緩和からの出口開始時期は66%が今から1年以上3年未満と回答。

2017年4月25日(火)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(186先、100%)が4月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 3か月先の無担保コールON金利予想DIは前回と概ね同じ。2年国債金利予想DIは+14と前回(+29)よりも15%ポイントの低下。10年金利予想DIは+25と前回(+19)よりも6%ポイント上昇した。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年以上3年未満」の見方が66%と前回(64%)より増加。1年未満との回答と足した3年未満との回答比率合計は過去4回で増加している。

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(198先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年4月20日～25日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	93.9% (回答者数186先<Q1における回答者数>)

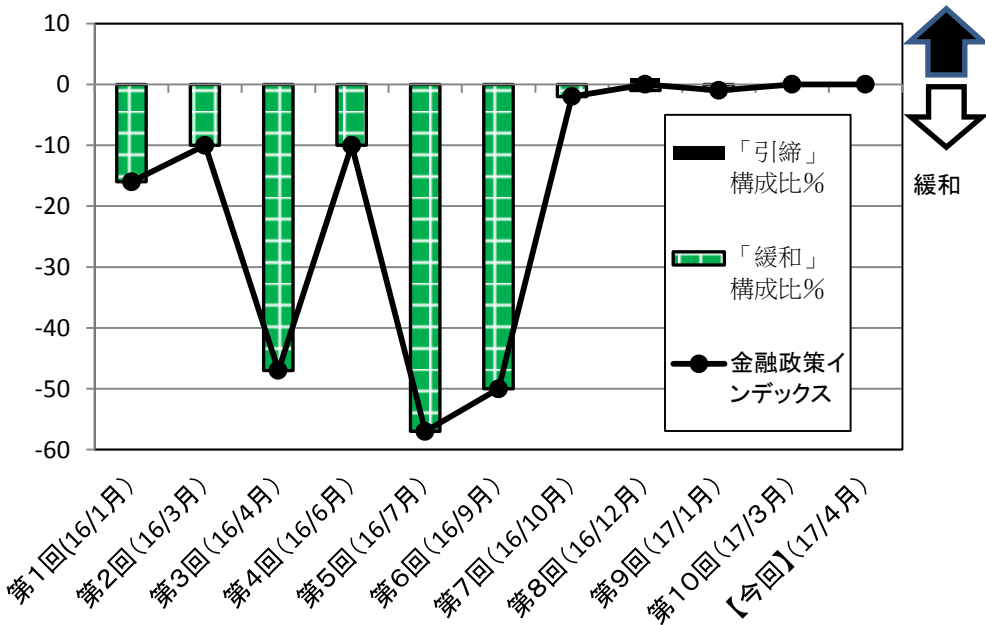
【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(4月26日～4月27日)における決定について

全回答者が「不変」の見方。全回答者が「不変」と回答したのは前回に続いて2回連続。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」ー「緩和」構成比%)は、前回同様0だった。

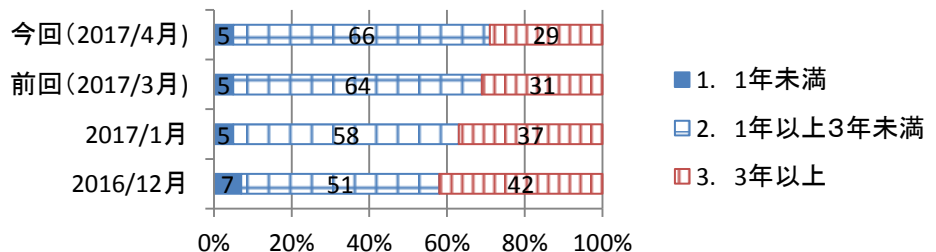
(構成比 %) 上田八木・金融政策インデックス(「引締」ー「緩和」構成比%)



(ご参考)

【今回4回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

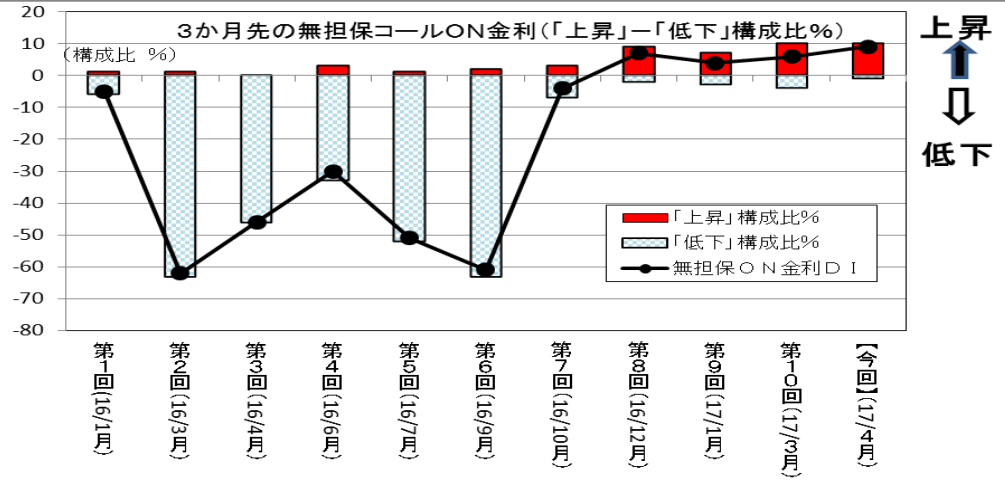
出口開始時期3年未満の比率が増えている。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の89%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は10%だった。

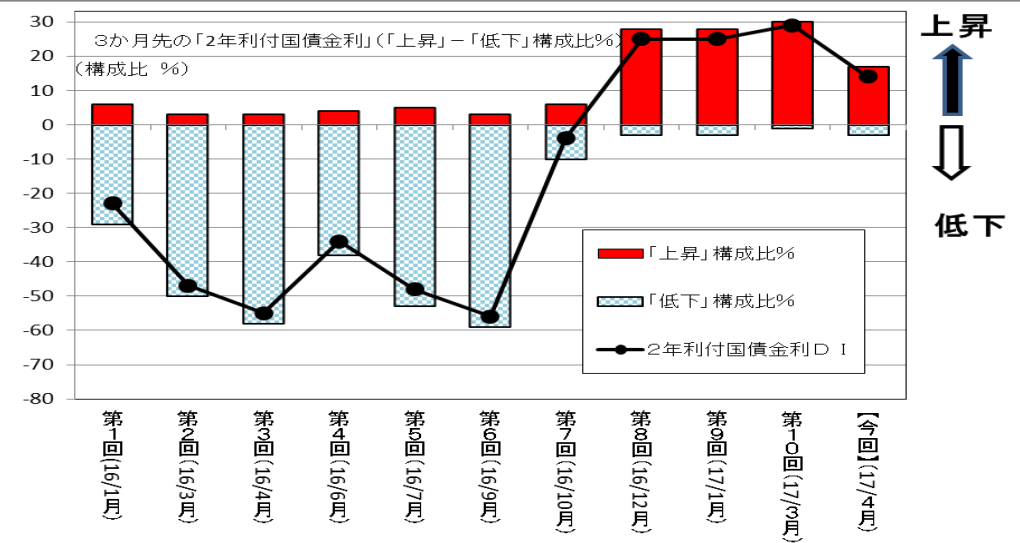
前回との比較では、「低下」とみる先は▲3%ポイント(前回4%→今回1%)。「不変」とみる先が+3%ポイント(前回86%→今回89%)。「上昇」とみる先は前回と同じ+10ポイント。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の80%が「不変」を予想。3%が「低下」。「上昇」を予想した先は17%であった。

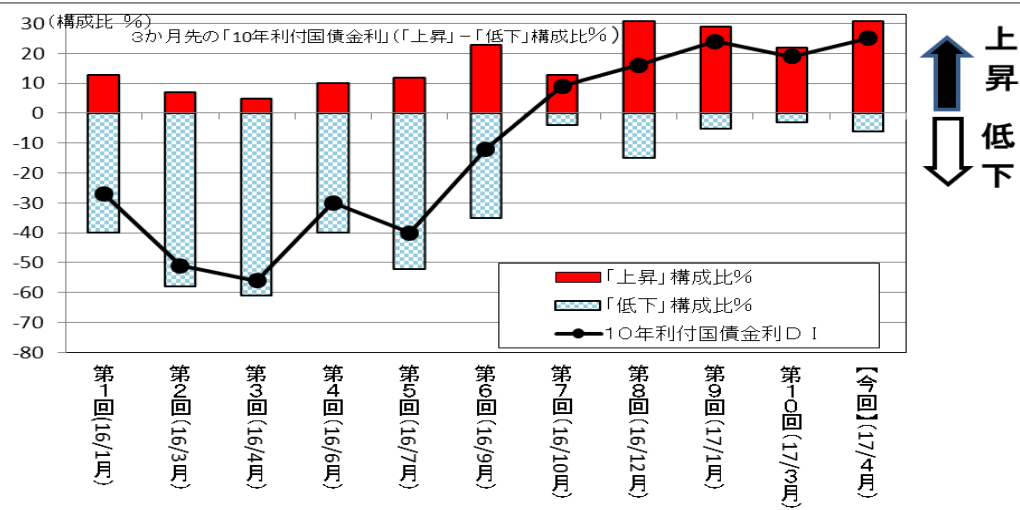
前回との比較では、「低下」とみる先は+2%ポイント(前回1%→今回3%)。「不変」とみる先が+11%ポイント(前回69%→今回80%)。「上昇」とみる先が▲13%ポイント(前回30%→今回17%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の63%が「不変」を予想。6%が「低下」。「上昇」を予想した先は31%。

前回との比較では、「低下」とみる先が+3%ポイント(前回3%→今回6%)。「不変」とみる先は▲12%ポイント(前回75%→今回63%)。「上昇」とみる先は+9%ポイント(前回22%→今回31%)。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)